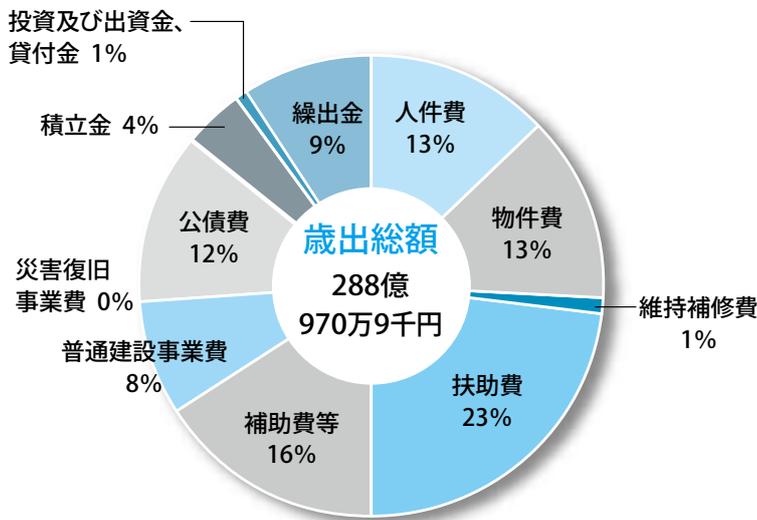
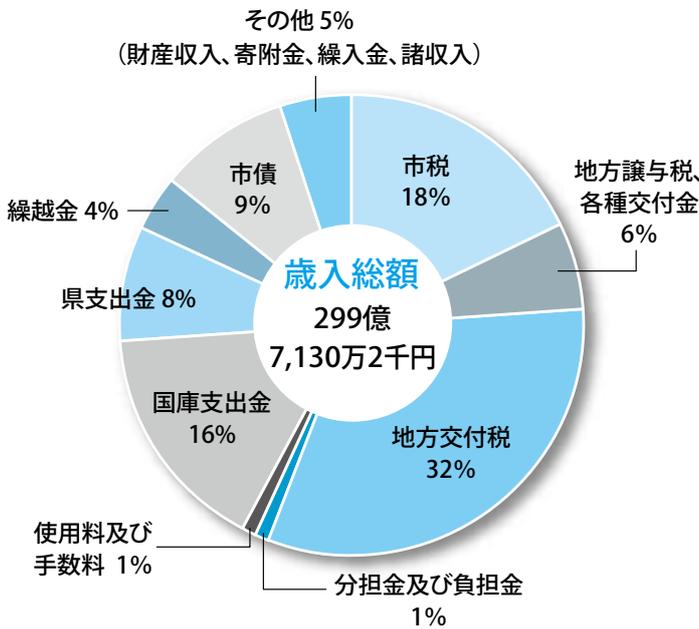


# ～令和5年度決算の状況～

## 一般会計



令和5年度一般会計決算額は、歳入総額 299 億 7,130 万 2 千円、歳出総額 288 億 970 万 9 千円、差し引き 11 億 6,159 万 3 千円の黒字となり、繰越事業の財源として翌年度に繰り越す財源 (9,917 万 7 千円) を控除した実質収支額は、10 億 6,241 万 6 千円となりました。



## 〔歳入〕 (単位：千円)

項目	決算額
市税	5,512,468
地方譲与税、各種交付金	1,674,915
地方交付税	9,453,172
分担金及び負担金	194,333
使用料及び手数料	317,291
国庫支出金	4,887,274
県支出金	2,525,656
財産収入	171,361
寄附金	249,530
繰入金	625,554
繰越金	1,270,503
諸収入	414,720
市債	2,674,525
合計	29,971,302

## 〔歳出 性質別〕 (単位：千円)

項目	決算額
人件費	3,803,720
物件費	3,797,002
維持補修費	245,375
扶助費	6,487,314
補助費等	4,626,911
普通建設事業費	2,404,386
災害復旧事業費	98,696
公債費	3,418,285
積立金	1,005,571
投資及び出資金	185,086
貸付金	41,712
繰出金	2,695,651
合計	28,809,709

## 〔歳出 目的別〕 (単位：千円)

項目	決算額
議会費	171,863
総務費	4,251,724
民生費	10,081,828
衛生費	2,304,167
労働費	3,193
農林水産業費	955,786
商工費	964,972
土木費	2,401,940
消防費	1,766,125
教育費	2,391,130
災害復旧費	98,696
公債費	3,418,285
合計	28,809,709

※決算統計上の区分(目的)の数値であり、決算書の区分(款)の数値とは異なります。

● 市民の皆さん 1 人当たりで見ると… (歳出目的別)

※人口43,327人(令和6年3月31日現在)で計算

議会費 3,967 円

議会の運営など



総務費 98,131 円

庁舎の管理、徴税、選挙など



民生費 232,691 円

高齢者福祉や障がい者福祉、生活保護、子育て支援など



衛生費 53,181 円

医療対策、病気の予防、ごみ処理など



農林水産業費 22,060 円

農業や林業、漁業の振興など



商工費 22,272 円

商業や工業、観光の振興、企業誘致など



土木費 55,437 円

道路や河川、公園、住宅の整備・管理など



消防費 40,763 円

消火活動、救急救命など



教育費 55,188 円

小中学校、公民館の運営、文化財の保護、生涯学習など



公債費 78,895 円

借金の返済



その他 2,352 円

雇用対策や災害など



◆ 市民 1 人当たりの歳入額 69万1,747円

うち市民税(個人) 44,465 円

うち固定資産税 63,276 円

◆ 市民 1 人当たりの歳出額 66万4,937円



令和 5 年度決算に係る財政指標は次のとおりです

健全化判断比率

◆ 実質赤字比率 <->

福祉、教育やまちづくり等を行う益田市の一般会計等の収支が、赤字か黒字かを見るための指標です。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

◆ 連結実質赤字比率 <->

一般会計、特別会計の全会計を合算した指標で、赤字か黒字かを判断します。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

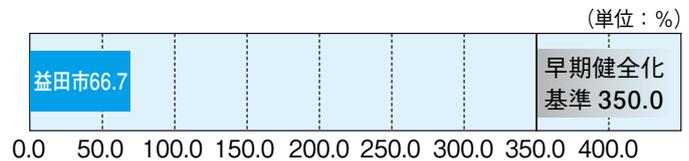
◆ 実質公債費比率 < 10.1% >

歳出の中で、過去に行なった借入金の返済額およびこれに準ずるものの大きさを見るための指標です。



◆ 将来負担比率 < 66.7% >

一般会計等が将来的に負担する必要があるもの(地方債の現在高や退職手当負担見込額、第三セクターに対する負担見込額等)が、後年度財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。



※健全化判断比率のうち、いずれか 1 つでも早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定する必要があります。

資金不足比率

地方公共団体が設置する公営企業に係る特別会計ごとの資金不足額を算定し、公営企業の資金不足額を公営企業の料金収入等の規模で示される事業規模と比較して、経営状況の深刻度を示すものです。

※資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を策定する必要があります。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
土地区画整理事業特別会計	—	

《資金不足が生じていないため、比率は表示されません》

【問い合わせ先】 市財政課 ☎ 31-0604

# 介護保険特別会計

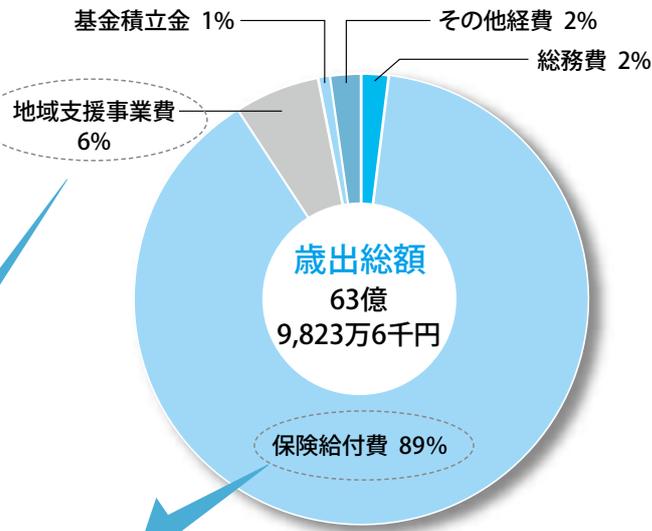
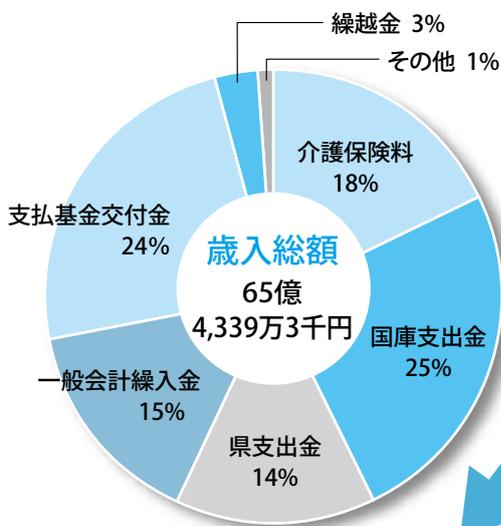
介護保険特別会計の決算の状況は以下のとおりです。

歳入額 65億4,339万3千円

歳出額 63億9,823万6千円

歳入と歳出の差額 1億4,515万7千円 は令和6年度に繰り越しました。

これは交付金等の返還、基金の積立に充てます



(単位：千円)

(単位：千円)

地域支援事業費の内訳	令和5年度	令和4年度
介護予防・生活支援サービス事業費	189,369	171,747
一般介護予防事業費	19,425	22,884
包括的支援事業費	194,517	197,968
総合相談事業費	108,460	111,017
権利擁護事業費	274	142
包括的マネジメント事業費	116	123
任意事業費	29,292	30,193
在宅医療・介護連携推進事業費	6,612	6,603
生活支援体制整備事業費	28,089	26,966
認知症総合支援事業費	21,674	22,924
高額介護予防サービス費相当事業等費	491	692
その他諸費	963	874

保険給付費の内訳	令和5年度	令和4年度
居宅サービス費	1,963,378	1,918,840
地域密着型介護サービス費	1,290,487	1,290,729
施設サービス費	1,877,423	1,814,826
福祉用具購入費	8,982	8,607
住宅改修費	21,329	24,008
サービス計画費	221,518	224,425
高額サービス費	125,799	124,459
高額医療合算サービス費	18,034	19,384
特定入所者介護サービス費	134,034	141,720
審査支払手数料	6,451	6,491

## ★歳入（収入）

介護保険特別会計の主な歳入は、保険料、支払基金交付金、国・県の支出金、益田市一般会計からの繰入金などが占めています。介護サービスの給付を行うために必要な財源は、保険料や国・県・市の負担となります。また、介護保険事業に必要な事務費や人件費などの大部分は市の負担となります。

**介護保険料**：65歳以上の1号被保険者保険料のことです。

**支払基金交付金**：40歳から64歳までの2号被保険者保険料のことです。

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 ☎ 31-0682

## 後期高齢者医療特別会計

歳入と歳出の差額 1,710万2千円は令和6年度に繰り越しました。これは後期高齢者医療広域連合保険料等納付金等の財源となります。

【問い合わせ先】

市保険課 ☎ 31-0215 FAX 24-0180

## ★歳出（支出）

**保険給付費**：要支援・要介護認定を受けてサービスを利用した時に、保険で負担する9割から7割のサービス費と、それらをサービス提供事業者などに支払うために必要な審査支払手数料のことです。

**地域支援事業費**：高齢者が「要支援・要介護状態」になることを予防し、また、住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援する事業です。

「地域包括支援センター」は、高齢者の介護や福祉、医療、そして権利などを守るため、生活のあらゆる面からサポートする相談機関です。お気軽にご相談ください。

(単位：千円)

歳入		歳出	
後期高齢者医療保険料	589,066	総務費	35,518
繰入金	981,019	広域連合納付金	1,532,931
その他	63,838	その他	48,372
合計	1,633,923	合計	1,616,821

# 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計（事業勘定・診療施設勘定）の決算の状況をお知らせします。

## 事業勘定

歳入額 49億3,954万8千円

歳出額 48億8,867万1千円

歳入と歳出の差額 5,087万7千円 は令和6年度に繰り越しました。

※事業勘定は、医療給付、特定健康診査、人間ドックなどの事業を実施するための予算です。歳出における保険給付費とは、主に、被保険者が医療機関を受診した際の費用のうちの保険者負担額（7～8割部分）です。

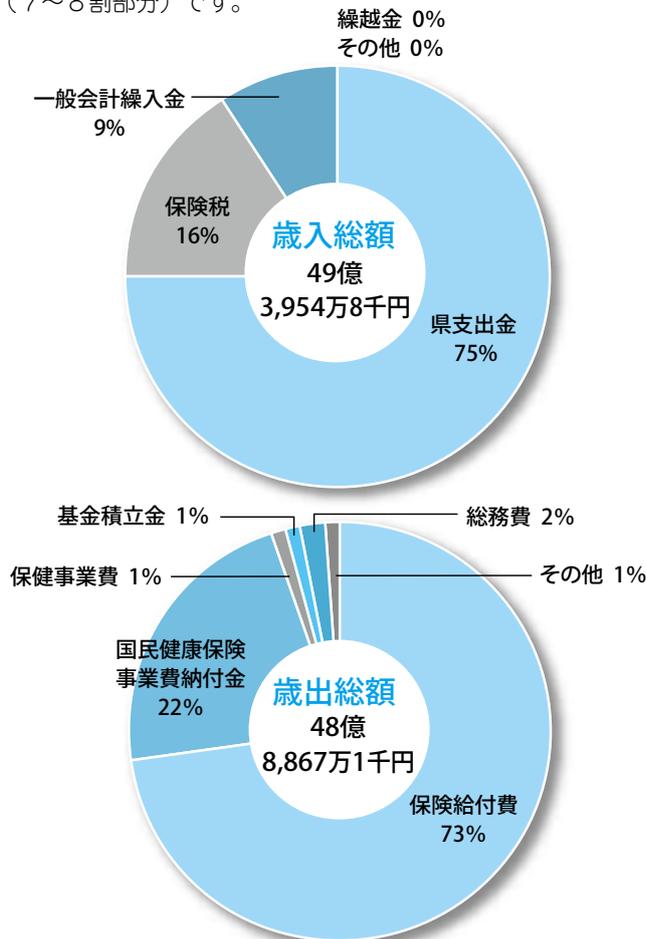
[歳入] (単位:千円)

区分	決算額
県支出金	3,686,536
保険税	795,423
一般会計繰入金	440,752
繰越金	6,985
その他	9,852
合計	4,939,548

[歳出] (単位:千円)

区分	決算額
保険給付費	3,564,147
国民健康保険事業費納付金	1,062,861
保健事業費	68,848
基金積立金	68,657
総務費	93,878
その他	30,280
合計	4,888,671

差引	50,877
----	--------



## 被保険者数と1人当たり年間医療費

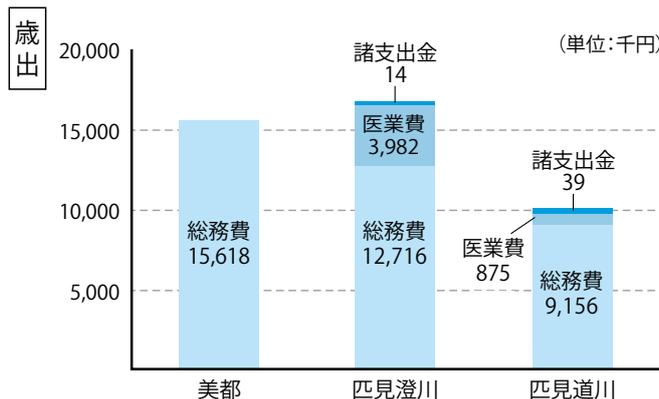
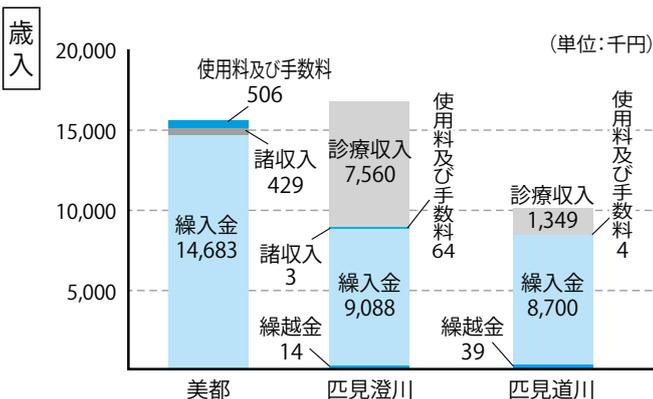
	国保	令和4年度	令和5年度	伸び率(%)
益田市	被保険者数(人)	8,874	8,354	▲ 5.86
	1人当たり医療費(円)	448,860	486,459	8.38

	国保	令和4年度	令和5年度	伸び率(%)
県内市町村計	被保険者数(人)	119,563	113,225	▲ 5.30
	1人当たり医療費(円)	490,264	517,142	5.48

※被保険者数は年間平均です。医療費は各年度の前年度3月から当該年度2月までの診療分で島根県国保連合会が集計した速報値です。

## 診療施設勘定

医療の受診機会に恵まれない地域に国民健康保険診療施設を開設しています。診療施設勘定は、診療施設の運営や整備のための予算です。歳入歳出差引は、美都診療施設 0円、匹見澄川診療施設 1万7千円、匹見道川診療施設 2万2千円となりました。

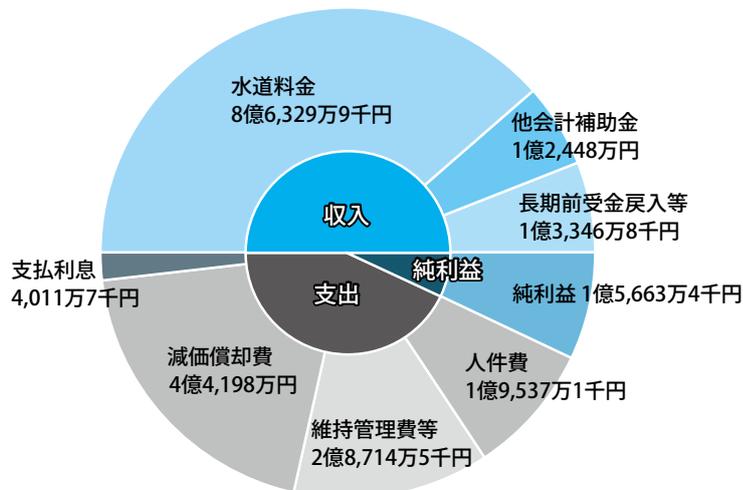


【問い合わせ先】 市保険課 ☎ 31-0212 FAX 24-0180

## 益田市水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

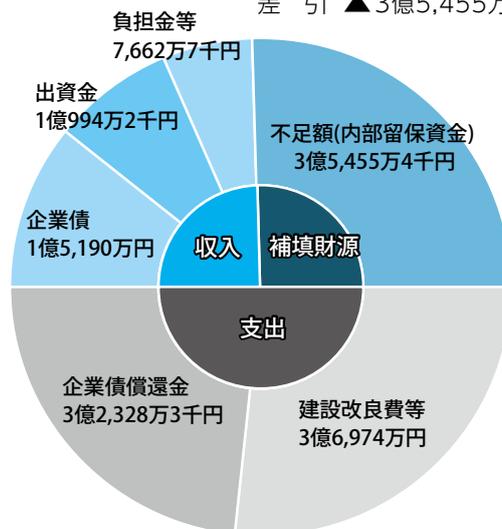
### 収益的収支（税抜）

収入 11億2,124万7千円  
 支出 9億6,461万3千円  
 純利益 1億5,663万4千円



### 資本的収支（税込）

収入 3億3,846万9千円  
 支出 6億9,302万3千円  
 差引 ▲3億5,455万4千円



### 業務量の概要

項目	令和5年度	対前年度比
期末給水人口	41,612人	98.50%
年間配水量(①)	6,509,440m <sup>3</sup>	99.10%
年間有収水量(②)	4,798,661m <sup>3</sup>	98.30%
有収率②/①×100	73.70%	0.7ポイント減

- ・収益的収支… 水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 水道施設を造るために要した経費と財源

### 主な建設改良工事

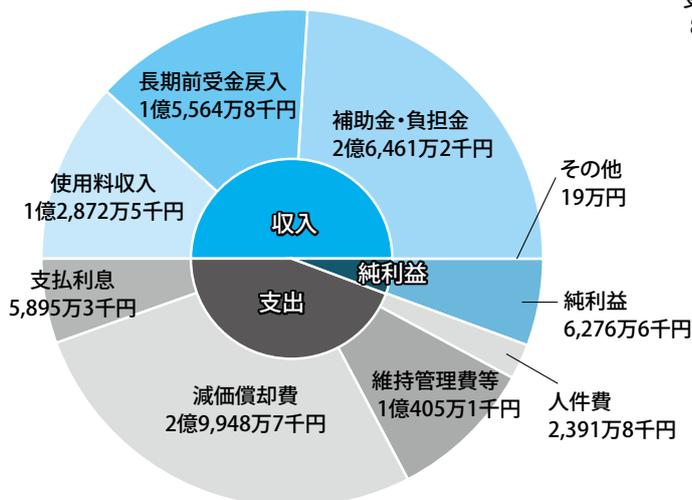
工事名	金額(税込)
主要地方道益田阿武線(日の瀬橋)配水管改良工事	20,966千円
県道幡竜湖高津線配水管改良工事	46,310千円

【問い合わせ先】市上下水道部業務課 ☎ 31-0421

## 益田市下水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

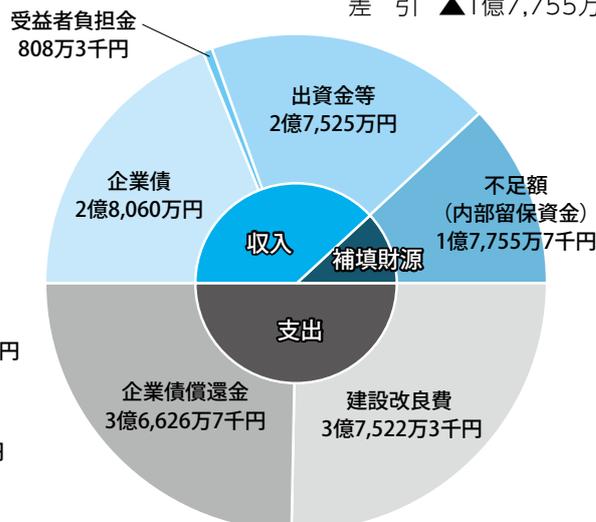
### 収益的収支（税抜）

収入 5億4,917万5千円  
 支出 4億8,640万9千円  
 純利益 6,276万6千円



### 資本的収支（税込）

収入 5億6,393万3千円  
 支出 7億4,149万円  
 差引 ▲1億7,755万7千円



### 業務量の概要

項目	令和5年度	対前年度比
期末接続済人口	4,918人	102.5%
下水道普及率	15.38%	0.75ポイント増
年間有収水量	547,232m <sup>3</sup>	100.0%
1日平均処理水量	1,494m <sup>3</sup>	99.7%

- ・収益的収支… 下水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 下水道施設を造るために要した経費と財源

### 主な建設改良工事

工事名	金額(税込)
公共下水道駅南工区汚水管路工事(その2)	50,588千円
中島雨水幹線地質調査業務委託	4,947千円

【問い合わせ先】市上下水道部下水道課 ☎ 31-0323